

# 災害（地震や土砂災害など）の時の家庭での準備

English (英語)

災害（地震や土砂災害など）から自分を守るために、家庭で次のような準備をしてください。

## ◎「3日間耐える」ための家庭での準備

大きな地震で電気、水道、物流が止まってしまったとき、家庭に最低3日分の水

（1人・1日あたり3リットル必要）、食べ物、懐中電灯、モバイルバッテリー、非常

用トイレなどを前もって買って置いてください。

## ◎大きな家具（棚など）や家電（冷蔵庫など）は、壁に取り付ける

大きな地震のとき、大きな家具（棚など）や家電（冷蔵庫など）が転倒してケガをす

る危険があります。

お店（ホームセンターなど）で取り付け金具を買って、壁に取り付けてください。

## ◎近所（まわりに住んでいる）の人を知りましょう

地震が起きた後、まわりに住んでいる人と一緒に、誰か助けが必要な人がいないか

どうか調べます。もし助けが必要な人を見つけたら助けます。

普段からまわりに住んでいる人はどんな人なのかを知っておきましょう。災害に備え

て自治会に入ってください。

## ◎家が危険なときは避難所（逃げるところ）

いえ どしゃさいがい じしん きけん ひなんじょ に い  
家が、土砂災害や、地震でつぶれる危険があるときは、避難所（逃げるところ）へ行っ  
てください。

ひなんじょ に す ちいき しょうがっこう きたしょうがっこう  
あなたの避難所（逃げるところ）は、住んでいる地域の小学校（北小学校区はメ  
イプルホール、萱野北小学校区は第二中学校）です。

いえ あんぜん ひなん す ひと いっしょ きゅうじょ さんか  
家が安全なら、避難しないで、まわりに住んでいる人と一緒に救助に参加してくだ  
さい。

## ◎防災マップを見てください

どしゃさいがい きけん ばしょ ひなんじょ に ばしょ し くぼ ぼうさい  
土砂災害の危険がある場所や、避難所（逃げるところ）の場所は、市から配っている防  
災  
マップを見てください。

いえ どしゃさいがい きけん ばあい あめ つよ まえ ひなんじょ に  
（家が土砂災害でつぶれる危険がある場合は、雨が強くなる前に避難所（逃げる  
ところ）へ行きましょう。土砂災害の危険が無い場合は、不要な外出をせず、家の中  
にいてください。）

しみんあんぜんせいさくしつ  
《市民安全政策室》

でんわ  
電話：072-724-6750

ファックス：072-724-6376